

# 地方経済情報 Weekly No.421

## 好評開催中！「緑の流域治水スタディツアー」 ～2分でわかる紹介動画を作成しました～

### 1. 「緑の流域治水」を学ぶスタディツアー

当研究所は、令和2年7月豪雨で被災した球磨川流域の持続的な発展を目指す産官学共同プロジェクト「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」※1に参画しています。その一環で、流域治水の技術や考え方に加え、地域資源や産業と連携した取組を学ぶ「緑の流域治水スタディツアー」（以下、ツアー）を企画し、JTB 熊本支店にて販売しています。詳細は右下の動画をご覧ください。

このツアーは、豪雨時に球磨川へ水をゆっくり流し、氾濫や被害をできるだけ防ぐ「雨庭」や「田んぼダム」など、流域の住民や企業が主体となり取組む治水技術を学ぶことができます。

### 2. 参加者の多くの方が「流域治水」への理解を深めています！

このツアーは、球磨川の上流域から下流域までに点在する「スタディサイト」（流域治水技術の研究拠点）で本物の流域治水の技術を体験し、その導入過程を学ぶという「学び」をキーコンテンツとした新たな観光形態です。2023年7月から販売を開始した本ツアーは、国内だけでなく海外からの参加者も含めて、15団体106名に参加いただきました。また、参加者の約9割がツアー内容に満足し、緑の流域治水に関する理解を向上させています。

### 3. 「緑の流域治水スタディツアー」をぜひご体験ください

本ツアーの参加費の一部は、スタディサイトへの謝金として運営団体や管理者に還元されます。流域治水に効果的な「湿地再生」と「生物多様性の保全」に取り組む団体をはじめ、「雨庭」や「田んぼダム」、「森林管理」等に取り組む高校生の活動費に充てられています。あわせて、人吉球磨地域で活動する地域おこし協力隊員や、自伐型林業に取り組む林業者などで構成されるツアーガイドへの報酬としても活用されています。豪雨に流域治水で備える地域共創型の取組や、観光を通じた地域への貢献を考えるきっかけづくりに、ぜひご参加ください。

【当研究所ホームページ 緑の流域治水スタディツアー】 <https://www.eri.or.jp/studytour/>

※1 JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）から令和3年度に採択を受けた「共創の場形成支援プログラム」（地域共創分野・本格型）

図表1 「緑の流域治水スタディツアー」の動画



スマホやパソコンから、  
本ツアーのポイントを  
動画でチェック！

担当：事業連携部 兼 研究開発部 部長 宮野 英樹